

令和 4年 1月 12日

名古屋市長 殿

〒465-0064

名古屋市名東区大針3-350

楽知ん研究所 ころりんハウス

特定非営利活動法人 楽知ん研究所

代表理事 宮地 祐司

(090-2017-7919)

事業報告書等提出書

前事業年度（令和2年11月1日から令和3年10月31日まで）の事業報告書等について、特定非営利活動促進法第29条（同法第52条第1項（同法第62条において準用する場合を含む）の規定に基づき、下記の通り2通提出します。

記

- | | |
|---|--------|
| 1 | 事業報告書 |
| 2 | 活動計算書 |
| 3 | 貸借対照表 |
| 4 | 財産目録 |
| 5 | 年間役員名簿 |
| 6 | 社員名簿 |

令和2年度／令和3年度 事業報告書

自 令和2年（2020年）11月1日

至 令和3年（2021年）10月31日

特定非営利活動法人 楽知ん研究所

らくちん[®]研究所

1. 事業の成果

1.1 〈親子孫でたのしい仮説実験講座〉の実施および研究開発

本格的な科学入門教育の講座である「親子孫で〈たのしい仮説実験〉講座」は、当団体の事業の中心的な事業である。

本事業年度は、社会の科学の授業書《世界の国旗》をテーマとして親子孫講座を開催した。これは当初、2020年に開催する予定だった。日本でオリンピック開催の年ということもあり、世界の国旗を通じて社会を俯瞰して学ぶ絶好の機会との考えだった。しかし、新型コロナウイルスの感染により、諸般の準備が整わず1年延期し、新作親子孫講座として本事業年度の7・8月を中心に全国15会場で実施した。実験セットでは手作り白地球儀の開発、オリジナルミニ国旗・人口国旗シールの製作と生産を当団体でおこなえるようにした。

その一方で、過去に〈親子孫講座〉として取り上げたテーマである〈30倍の世界〉やその他のテーマについて、あらためて研究を深めて講座内容に反映させ、感染予防に取り組みながら講座を実施した。最終的には、少人数の講座を各地で夏休み以外の時期にも開催することができた。

なお、新型コロナウイルスの感染により、学校にチラシの配布が難しくなったことをきっかけに、講座の周知の方法として、公式LINEアカウントの開設とリピーターによる講座宣伝を昨事業年度に続き継続しておこなった。この方法で団体のミッションや事業について、参加者やこれから参加する人たちに直接つたえやすいメリットがある。

現在、北海道（室蘭・東川町）・宮城（仙台市）・神奈川（藤沢市）・茨城（城里町）、埼玉（新座市）、千葉（千葉市）、群馬（太田市）、新潟（長岡市）、愛知（名古屋市・半田市）、京都（京都市）、鳥取（倉吉市）、熊本（八代市）、長崎（諫早市）でこの取り組みがひろがっている。

1.2 親子孫で〈たのしい仮説実験〉講座 主催事業を普及する事業

楽知ん研究所の事業の柱である「親子孫で〈たのしい仮説実験〉講座」を、全国の仮説実験授業ファンがたのしめる2日間のワークショップとして2013年から10回開催の予定で企画し実施してきたが、新型コロナウイルスの感染により、本事業年度での開催は断念した。ファンから主催者へシフトする方が例年少なからずいるのだが、実現しなかった。

そこで別の機会として、〈親子孫で〈たのしい仮説実験〉講座を主催者してみませんか？研究会〉を設定した。これは一昨年度の〈お先に失礼！人生100年時代を満喫！死ぬまで仮説実験授業をたのしむにはどうする？研究会〉および、昨年度インターネットをつかって実施した〈往復書簡研究会〉に続くものである。

リアルな講座体験・インターネット上の研究会・リアルに集まって実施する研究会を組み合わせた3回連続の研究会として企画したが、新型コロナウイルスの感染拡大により、リアルな講座体験は一部にとどまり、リアルな研究会は中止となり、主にインターネットをつかった研究会が中心となった。まったく主催したことがない方の参加は3名あり、この中の1名は主催者を目指し当団体のサポーター会員となった。

1.3. 〈大道仮説実験〉講座 の実施および研究開発

〈大道仮説実験〉講座 は、子どもから大人までが気軽にたのしめる〈科学入門教育の講座〉である。全国各地の当法人会員が中心となり、公共図書館、公民館等からの依頼や、また主催者となって親子孫を対象に実施している。講座内容は今までに当法人が開発した〈大道仮説実験〉のフリップブックに基づいた一連の実験・体験、及びそれに関するものづくり等である。

この講座は、大人数が集まってそれぞれの意見を交わし討論しながら、予想をたてて実験で決着をつけていくのが特徴である。しかし2020年から本格化した新型コロナウイルスの感染拡大に配慮すると、三密は避けがたく、講座開催が難しいことがわかってきた。そのため、感染対策が十分にとれる場合をのぞいて、講座の開催を当面自粛することとし、ほとんどを中止・延期・内容変更などとなった。この事業の本格的な再開については、新型コロナウイルスの感染状況がおちつくまで、当面見合わせる方針である。

1.4. 〈大道仮説実験〉講師への道 講座の実施

〈大道仮説実験〉講座を〈科学入門教育の講座〉として、また、各地の講師が地域社会で人づくりにつながるプログラムとして実施できるよう、お互いに学びあう場として、〈大道仮説実験〉講師への道 講座を2014年度より継続して実施している。

しかし本事業年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、講座の主催者がリアルに集まって行う研究会は見合わせた。

1.5 〈ぶんしっし〉講座・もっと〈ぶんしっし〉講座の実施

〈ぶんしっし〉講座は、カードゲーム〈ぶんしっし〉で原子分子と親しくなる講座で、「もっと〈ぶんしっし〉講座」は、5000万倍の分子模型を自分でつくること、原子論に入門する講座である。2017年にスタートしたこの講座は、徐々に主催者が広がっている。

本事業年度は、この講座がコロナ下であっても感染対策に取り組みながら実施することができた。分子模型づくりに使用する専用の道具〈ぶんしっし職人〉も安定的に製作し、分子模型の材料となる色塗り済み発泡スチロール球も、前事業年度より福島県にある就労型作業所コパン・クラージュに委託し、安定供給ができています。

1.6 @ホーム講座 実施事業

新型コロナウイルスの感染拡大防止のためにふえた自宅滞在をキッカケにスタートした、主催者と参加者が〈たのしい科学〉を間につながりを深める講座。5000万倍の分子模型づくりをテキストを見ながら自分でつくる「〈もっとぶんしっし〉@ホーム講座」と、ミョウバンの結晶育成をたのしむ「はじめての結晶づくり@ホーム講座」の2種類を設定した。携帯で撮影する写真レポートなどを組みあわせ、参加者と離れたところにいる主催者がつながり、リアルな講座にもいずれ足を運んでもらうよう企画した。

本事業年度は、リアルな講座に参加できる機会がふえたためか、通信講座の参加者は少なかった。

1.7 委託事業

今事業年度の委託事業は、コロナ感染拡大に鑑みて比較的小規模のイベントとして企画・実施されることが多く、中止される事業は少なかった。しかし、委託事業収入としてはコロナ感染拡大前の半分程度にとどまった。

1.8 初等科学史研究会 実施事業

本事業年度は、初等科学史研究会も新型コロナウイルスの感染拡大により、開催は見合わせた。次事業年度で、〈原子論〉をテーマにした研究会を開催する予定である。

1.9 出版物、教材及び教育玩具の作成及び販売事業

本事業年度も、親子孫で〈たのしい仮説実験〉講座にて使用する、親子孫講座版の授業書制作や、〈もっとぶんしっし〉講座、〈大道仮説実験〉講座を通じた、まとまった研究により、『ころコロ研究紙』やほか出版物や教材及び教育玩具の開発・作成及び販売を行うことができた。

なかでも、『楽知ん研究所 公式ガイドブック』は、当団体が親子孫講座をはじめとする科学入門講座を通じてその目ざすものを手軽に紹介する小冊子で、事業の普及に欠かせない生産物である。また『科学入門教育WORKS』No3・4の発行により、あらたな親子孫講座主催者が安心して〈30倍の世界〉の講座をすすめる手引きとなった。さらに、新作〈世界の国旗〉講座を通じて作られたカードゲーム「こっきっき」は今後普及が期待できる生産物である。

発行22年目を迎える『楽知んカレンダー』は、「暦人（こよみびと）」として発行を応援する人が徐々にふえてきたが鈍化傾向にある。今事業年度では、暦人229名で前事業年度より20名ほど増えた。これまで以上に読み応えのある内容に育て、暦人の拡大を図る予定である。

2 特定非営利活動に係る事業実施に関する事項

2.1 「親子孫で〈たのしい仮説実験〉講座」実施事業

2.1.1 新規テーマ〈世界の国旗〉

受益対象者の範囲及び人数

：ウェブおよび公式LINEの登録者へのシェア宣伝を中心に、広く参加を呼びかけ。

【開催結果】

開催会場16会場(前年は新型コロナ感染拡大のため新作のテーマでは開催していない)

参加者：110組の親子孫

内訳 95家族(子ども104人・家族大人122人)+大人おひとり様15人

総計 241人(子ども104人・大人137人)

2.1.2 前年度以前に取り組んだテーマでの開催

受益対象者の範囲及び人数

：ウェブおよび公式LINEの登録者へのシェア宣伝を中心に、広く参加を呼びかけ。

【開催結果】

開催会場 47会場 (前年度19会場, 前々年度33会場)

参加者：223組 (前年度120組, 前々年度316組) の親子孫

内訳：185家族 (子ども230人・家族大人251人) +大人お一人様38人

総計519人 (子ども230人・大人289人)

テーマ毎の開催会場数と参加人数の内訳

- ・ 〈30倍の世界〉 37会場

174組 144家族 (子ども182人・家族大人203人) +お一人様30人

総計415人 (子ども182人・大人233人)

- ・ 〈光と虫めがね〉 8会場

45組 38家族 (子ども44人・家族大人45人) +お一人様 7人

総計 96人 (子ども44人・大人52人)

- ・ 〈自由電子が見えたなら〉 2会場

4組 3家族 (子ども 4人・家族大人 3人) +お一人様1人

総計 8人 (子ども 4人・大人 4人)

2.2.1 「親子孫で〈たのしい仮説実験〉講座 主催してみませんか？」研究会 実施事業

実施期間 6月4日(水)～9月7日(日)のうち, 25日間

参加者 25人

課題 自己紹介レポート&「親子孫講座のものの見方・考え方」へのコメント

使用媒体 メールリングリストとGoogleクラスルーム

2.3 〈大道仮説実験〉講座 実施事業

受益対象者の範囲：各地の主催者が募集する地域の小学生以上の親子

周知の方法：ウェブおよびこれまでの参加者と参加者の関係者にむけて宣伝

【開催結果】

開催会場11会場

参加者51組の親子孫

内訳：49家族（子ども62人・家族大人58人）+大人お一人様2人

総計122人（子ども62人・大人60人）

2.4 〈大道仮説実験〉講師への道 講座 実施事業

コロナ感染拡大のため、実施せず

2.5 〈ぶんしっし〉・もっと〈ぶんしっし〉講座 実施事業

受益対象者の範囲及：各地の主催者が募集する地域の小学生以上の親子

周知の方法：ウェブおよびこれまでの参加者と参加者の関係者にむけて宣伝

【開催結果】

講座数 101 講座(前年度 (10都市, 6 講師)

参加人数 延べ 868 人(前年度 506人)

講座0 空気のぶんしっしの巻 490 人

講座1 アルコールのぶんしっしの巻 163 人

講座2 二日酔いとすっぱいぶんしっしの巻 88 人

講座3 ぱんつのぶんしっしの秘密の巻 73人

講座4 カメのぶんしっしの巻 43人

講座5 あなたもぶんしっし職人? の巻 9人

講座6 わたしもぶんしっし職人! の巻 2人

2.6 @ホーム講座 実施事業

受益対象者の範囲及び人数：各地の主催者が募集する地域の小学生以上の親子

周知の方法：ウェブおよびこれまでの参加者と参加者の関係者にむけて宣伝

【開催結果】

〈もっとぶんしっし〉0 @ホーム講座 受講者数 7人

〈もっとぶんしっし〉1 @ホーム講座 受講者数 0人

「はじめての結晶づくり」@ホーム講座 受講家族数 3 家族

2.7 委託事業

・名古屋市図書館

2021年2月 名東図書館 もっと〈ぶんしっし〉講座（委託料 1万3240円）

・名古屋市昭和生涯学習センター

2021年8月 大道仮説実験〈ころりん〉講座（委託料 1万3000円）

・トヨタ産業技術記念館 週末ワークショップ 講座

2021年4月 もっと〈ぶんしっし〉講座 委託料 8万1400円

2021年9月 〈地球ってほんとにまあるいの?〉講座 委託料 8万1400円

・東海中学高等学校 サタデープログラム

2021年6月 大道仮説実験〈ころりん〉講座（委託料 1万0000円）

2.8 出版物、教材及び教育玩具の作成及び販売事業

科学入門教育に関する出版物，教材及び教育玩具の開発・作成及び販売を行った。

○出版物

『科学入門教育 WORKS 3』発行：2021/1/8 (300部)

『科学入門教育 WORKS 4』発行：2021/3/18 (300部)

『楽知んカレンダー』2021年/年度版 発行：2020/11/11 (2000部)

『楽知ん研究所 公式 ガイドブック』発行：初版 2020/3 (5000部)

○研究紙

『ころコロ研究紙』編集人：宮地祐司 A5版 64ページ+表・裏表紙 (160部)

第IV期 No.43 発行：2020/12/28

第IV期 No.44 発行：2021/2/12

第IV期 No.45 発行：2021/3/31

第IV期 No.46 発行：2021/9/3

○親子孫で〈たのしい仮説実験〉講座用 実験セットの開発 (主催者向け商品)

〈世界の国旗〉実験セット

家族セット (白地球儀・ミニ国旗ケース) 420 セット

ひとりひとりセット

(授業書用フルカラーシール，人口国旗マグネット，白地図) 800セット

カードゲーム「こっきっき」1000部

オリジナル缶バッジ (国旗柄) 300個

3 会議の開催に関する事項

3.1. 総会

3.1. 通常総会 (zoom によるオンライン開催)

日時：令和2（2020）年 12月 27日（日）12：00-13：00

議題

- ①第15期（2019/2020年度）事業報告について
- ②第15期（2019/2020年度）収支決算報告について
- ③第16期（2020/2021年度）事業計画案の承認について
- ④第16期（2020/2021年度）収支予算案の承認について

3.2. 理事会

第1回 理事会

日時：令和2年 11月 14日～17日 メールにて

議題：

- ①2020年総括について
- ②楽知ん商店街の売り上げについて
- ③楽知ん研究所会員の状況について

第2回 理事会

日時：令和2年 12月 14日～17日 メールにて

議題：

- ①会計報告および事業報告について
- ②楽知ん商店街の支払い方法について
- ③楽知ん商店街の売り上げについて
- ④NPO総会について

第3回 理事会

日時：令和3（2021）年 1月 14日～17日 メールにて

議題：

- ①NPO法人の事業報告について
- ②楽知ん商店街販売ルールについて
- ③全国の講座の開催状況について

第4回 理事会

日時：令和3年 2月 14日～17日 メールにて

議題：

- ①在庫の確認の仕方について
- ②商店街の支払い方法について
- ③会計決算の方法について

第5回 理事会

日時：令和3年3月14日～17日 メールにて

議題：

- ①新型コロナウイルス感染拡大にそなえた新年度の事業計画の変更について
- ②楽知ん商店街売り上げについて
- ③〈してみませんか？〉研究会の開催準備について
- ④サポーター会員への活動報告「春分はがき」について

第6回 理事会

日時：令和3年4月14日～17日 メールにて

議題：

- ①実験セットの在庫管理について
- ②「楽知んカレンダー」販売収支の報告
- ③全国のNEWSLetterのとりくみの報告
- ④新規テーマ検討状況について

第7回 理事会

日時：令和3年5月14日～17日 メールにて

議題：

- ①出版物の在庫処理と管理について
- ②〈してみませんか？〉研究会について
- ③親子孫講座の参加費設定について
- ④LINE公式アカウントについて

第8回 理事会

日時：令和3年6月14日～17日 メールにて

議題：

- ①全国の講座開催予定について
- ②各地の「News Letter」発行について
- ③親子孫講座の準備状況について

第9回 理事会

日時：令和3年7月14日～17日 メールにて

議題：

- ①実験セット製作状況について
- ②各地の親子孫で〈たのしい仮説実験〉講座募集状況について
- ③新規主催者のバックアップ体制について
- ④〈してみませんか？〉研究会進捗について

第10回 理事会

日時：令和3年8月14日～17日 メールにて

議題：

- ①親子孫で〈たのしい仮説実験〉講座の実施状況について
- ②楽知ん商店街7月の売上報告

③ウェブ会議の方法について

第 11 回 理事会

日時：令和3年9月14日～17日 メールにて

議題：

- ①親子孫で〈たのしい仮説実験〉講座開催状況について
- ②親子孫で〈たのしい仮説実験〉講座ワークショップの募集について
- ③総括資料作成の役割分担について

第 12 回 理事会

日時：令和3年10月14日～17日 メールにて

議題：

- ①総括作成の進捗状況について
- ②全国親子孫で〈たのしい仮説実験〉講座の集計について
- ③倉庫の契約について
- ④総会の開催について

以上